ホームページは
こちらから

東林地区（令和７年１月１日現在）
人　口　42,123人
世帯数　22,179世帯
【発行】東林地区社会福祉協議会
相模原市南区相南1丁目10番10号
☎ (042)705-3315

令和6年 11月17日(日) 第37回 東林ふくしまつり

バザー会場

スタンプラリー

健康測定会場

フラッグガーランド

東林地区の幼児が書いた絵をフラッグガーランドにしました。

スーパーボウルすくい

「健康と福祉を見て！体験して！知ってみませんか！」のキャッチフレーズで第37回東林ふくしまつりを開催いたしました。

阿部会長の「楽しみながら福祉を学んでください」の挨拶で開幕、好天に恵まれて1,500名（延べ人数）もの来場者があり活気溢れるイベントになりました。

東林地区社会福祉協議会

「ふくし」という言葉からどんなことを連想しますか。ある人は「困っている人に手を差し伸べること」というかもしれません。しかし。辞書で調べると「ふくし」とは「しあわせ」という意味があることが分かります。そして誰でも幸せを願わない人はいないと思います。

隣近所みんなが幸せに暮らせるようにそんな願いを込めて「地区社協（ちくしゃきょう）」は運営されています。

その集大成ともいうべき事業が「ふくしまつり」です。

１Fコーナー

今回は子ども達が楽しめるプログラムを新設し、合計16のプログラムを準備しました。

どのコーナーも多くの人が訪れていましたが、健康測定コーナー、お野菜重さ当てクイズ、百歳体操のコーナーは、健康に対する関心の高まりがうかがえました。

東林公民館 飯田館長のＤサックスはふくしまつりに彩を添える演奏でした。

百歳体操

東林公民館長のＤサックス演奏

～思うようにはいきません！～

１cm間隔の目盛りを付けた棒をスタッフの「落としますよ」の合図で手のひらをコップを持つようにして落ちてくる棒を掴む。掴んだ目盛りの短いほど反射能力が高い。

反射能力の測定

お野菜当てクイズ

～野菜生活　350ｇ！～

テーブルに様々な種類の野菜が並んでいる。一昨日、自分が食べた野菜と分量を思い出し、トレイに入れる。そのトレイの重さを計る。350ｇ以上なら合格！重さだけではなく野菜の種類についても親切なアドバイス！

～いいものみっけ！～

子ども用の衣類・履物・人形・おもちゃなどが会場いっぱいに並べてある。一人当たり５点まで無料で譲ってもらえる。子育てで大変なおかあさんにとってはありがたいイベント！

おゆずり会

福祉器具展示

～これはすごい！～

目を引いたのが介護ロボット。これを使えば介助者なしで椅子から車椅子に乗り移ることができる！

車イスから乗り降りしやすい福祉車両。

福祉車両展示

2Fコーナー

バザーと革工芸品販売や手作りパン･喫茶コーナー、高齢･障がい者福祉コーナーと体験ワークショップコーナーを開催。２Fバザーコーナーでは、衣料・日用品を中心に販売しました。

喫茶コーナー

スワンベーカリーの手作りパン販売

すぐ横のスワンベーカリーの手作りパンも大人気、NPO法人レモンタイムより身障者手作り革工芸品に注目があつまりました。

レモンタイムの手作り革工芸

コミュニティ室では、地域福祉の第一・第二地域包括支援センターが健康と福祉に関する情報を提供し、介護老人施設等の情報提供として、特別養護老人ホーム 太陽の家相模原清菊園、そんぽの家相模大野、東林間シニアクラブ、グループホーム東林間輝、東林地区老人クラブ連合会が参加。傍らでレモンタイムが革工芸の手作り体験ワークショップをそして東林間　輝も干支飾り手作りコーナーをと、どちらも親子連れに好評を博したようで幅広い年代層が訪れ楽しんでいました。

ワークショップ

地域包括支援センターってどんなところ？

地域包括支援センターは、高齢者とその家族の保健・福祉・介護に関する相談窓口として、相模原市より委託を受けています。地域のみなさんが自分らしく生活する方法を一緒に考え、必要に応じてサービスの紹介や調整を行います。

介護・健康・福祉のさまざまな相談

こんな時には…

最近来るお客様、何だか認知症みたいだけど、どう対応すればいいの？

引っ越してきたばかりで友人がいない。地域の高齢者のサークルやサロンを教えてほしい。

近所の一人暮らしのお年寄りが家に閉じこもっていて心配…

最近、夫が弱ってきた。どこに相談したらよいのか…

認知症のある母が徘徊して困っているんだけど…

介護・健康・福祉等のさまざまな相談支援や介護保険サービス、相模原市の在宅福祉サービスを利用するための申請代行を行っています。

介護保険など各種制度についても お気軽にお問い合わせください。

東林第一地域包括支援センター
042-740-7708

東林第二地域包括支援センター
042-705-8278

窓口開所　月～金
AM８：30～PM５：00
休 業 日　土日祝日　年始年末

令和６年度　相模原市社会福祉協議会顕彰

おめでとうございます

受賞者団体

月曜サロン、子育てサロン母べぇ、子育てサロンたんぽぽ、東林映写研友会、りんりんカフェ

翠ヶ丘自治会福祉部が運営するサロンは、高齢者を対象として発足以来、多くの変遷を経て現在の月曜サロンに至りこの度、社会福祉協議会より表彰を受けました。

翠ヶ丘自治会福祉部が運営する月曜サロンの様子

ボランティア募集

長らく皆様に愛されてきたいこいの広場（公民館）ですが、リニューアルに向けて令和７年４月からしばらく休止いたします。詳細はまた順次お知らせいたしますので楽しみにお待ちください！

いこいの広場リニューアルに向けてスタッフボランティアを募集いたします。また、あなたの得意なこと（楽器演奏・手品・お話し相手・読み聞かせなどなど）を身近な地域のサロンで生かしてみませんか？ご興味のある方は東林地区社会福祉協議会事務局までお問い合わせください。

（お問合せ先　TEL 042-705-3315）

東林いきいき塾　スマホ講座

９月５日に「東林いきいき塾」の「スマホ講座」を午前・午後の２回開催しました。スマホデビューした高齢者を対象に、各講座とも定員20人が満席で好評でした。

地図機能を利用し住んでいる地域を知り、公共機関との連携で防災や緊急時のリスク対応をして、『備えあれば憂いなし』イザという時に大切な命を守るスマホ活用のメリットなど教わりました。社会のデジタル化が急速に進展する中で、基礎からしっかりと学び、より安全で便利にスマホが使いこなせるよう、いち早く習熟していただきたいです。

赤い羽根共同募金

10月１日（火）10時～正午、赤い羽根共同募金を実施しました。

自治会や民生委員など総勢40名が参加し、地域の皆さまに募金への協力を呼びかけました。多くの方々の温かいご支援をいただき、地域福祉のための貴重な支援金￥57,917円を集めることができました。

この募金活動を通じて、地域のつながりをさらに深め、福祉活動を支える力を得ることができました。ご協力いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

＜編集後記＞

- 地域福祉の輪がどんどん広がる東林地区に期待しましょう。（敬）
- 「ふくしまつり」の盛況を伝える本紙で“福祉への関心の輪”が広がりますように！（賢）
- 「ふくしまつり」の熱気に接して、東林地区の人々の活力を痛感しました。（元）
- 東林地区の福祉事情について少しでも身近に感じていただけるよう祭りの形で企画しています。（匡）
- 広報活動を通じて、新しい視点を得られた２年間でした。感謝。（修）